

## 平成21年度に検討すべき課題についての意見の整理

医療機器の流通改善に関する懇談会

医療機器の流通改善に関する懇談会：平成21年度検討課題等

検討課題及び提案者種別	提案委員の意見(概要)
<p>医療機器のコード化について</p> <p>製・卸・医・学・公</p> <p>8人</p>	<p>【医器販協委員】医療機関内で使用されているコードの把握及びJANコードを標準コードとして普及させる方策について</p> <p>【中村委員】SPDの導入と医療材料の使用データのバーコード管理から電算レセプト請求までの一元化した管理について</p> <p>【松田委員】厚生労働省標準レセ電算コードと標準コードの対応(新規収載、廃止に関するマスタ管理も含めて)について</p> <p>【三村委員】標準コード化に係る海外の先進事例や日本の先駆的取組み等を参考にしながら、コード化推進の課題や問題点の専門的な検討について</p> <p>【吉田委員】コードの標準化と製販業・販売業・医療機関各々での利活用の促進加速によるIT化こそが、医療機器流通(物流・商流・情報流)における根本的問題の解決に有効且つ不可欠な課題と認識し、製販業・販売業・医療機関を繋いだサプライチェーン全体での利活用の促進のため、製販業・販売業・医療機関各々の相互理解と協力関係の構築並びに行政の指導力強化、環境整備及び支援策等について</p>
<p>「立会い基準」、「貸出基準」、「公正取引規約」について</p> <p>製・卸・医・学・公</p> <p>8人</p>	<p>【青柳委員】預託に係る薬事法及び医療機器業公正競争規約(無償の労務提供等)に関連する問題について</p> <p>【医器販協委員】「立会い基準」の施行による「医療の質」への影響について</p> <p>【崎原委員】「立会い」、「貸出し」に関し、病院と業界の小委員会設置によるルール作りについて</p> <p>【末永委員】「立会い料金」と医療材料費の引き下げについて</p> <p>【目黒委員】医療機器の物流に関し、立会いを含む方法について現状で問題がないか否かについて</p>
<p>「預託」について</p> <p>製・卸・医・学・公</p>	<p>【青柳委員】預託に係る薬事法及び医療機器業公正競争規約(無償の労務提供等)に関連する問題について</p> <p>【医器販協委員】「預託」の実態について</p>

医療機器の流通改善に関する懇談会：平成21年度検討課題等

検討課題及び提案者種別	提案委員の意見(概要)
7人	<p>【加藤委員】預託在庫の全体像について(コストアップ要因か否か、安全性の担保や病院側の視点も含めて)</p> <p>【三村委員】「預託」の実態を踏まえ、メーカー、卸、病院間での問題点、ルール化と標準契約締結などの可能性(長期預け置き、廃棄、回収、補充等で)、病院での管理体制の実態との関係における問題点について</p>
<p>SPDについて</p> <p>製・卸・医・学・公</p> <p>3人</p>	<p>【大塚委員】SPDのデメリットについて</p> <p>【崎原委員】全国の医療に係るSPD業者の実態について</p> <p>【中村委員】SPDの導入と医療材料の使用データのバーコード管理から電算レセプト請求までの一元化した管理について</p>
<p>医療機器の内外価格差について</p> <p>製・卸・医・学・公 1人</p>	<p>【末永委員】日本の特殊な流通機構を勘案しても許容しがたい医療機器の内外価格差について</p>
<p>医療機器流通のコスト構造及び価格設定、更には直販及び卸の在り方等流通全般について</p> <p>製・卸・医・学・公</p> <p>5人</p>	<p>【飯沼委員】画像診断システム等の「装置」と特定保険医療材料等の「材料」の流通コスト構造の相違と改善点について</p> <p>【上塚委員】ペースメーカー等の預託品を含め、医療材料メーカーが直接取引に難色を示す要因について</p> <p>【大塚委員】医療機器(特に大型医療機器)の価格設定の根拠及び信頼性について</p> <p>【崎原委員】医療機器の流通過程の適正化について</p> <p>【松田委員】医療機器のロジスティックコストの把握(流通形態別)とプラットフォーム産業としての卸のあり方について</p>

医療機器の流通改善に関する懇談会：平成21年度検討課題等

検討課題及び提案者種別	提案委員の意見(概要)
共同購入及びGPOについて	【医器販協委員】病院群を束ねた共同購入の実態について
製・卸・医・学・公 5人	【上塚委員】日本におけるGPOの導入等、購買エージェントを用いる手法について
医療安全について	【南委員】医療関係有資格者(医師・看護師・技士)向けの機器トレーニングセンターの設置・活用及びその質の基準等について
製・卸・医・学・公 2人	【目黒委員】医療機関における医療機器に関する窓口の明確化と安全性や経済性を含めた検討を行う組織について
返品及び仕損品について 製・卸・医・学・公 4人	【医器販協委員】医療機関における返品及び仕損品の実態について
MS法人について 製・卸・医・学・公 4人	【医器販協委員】MS法人の実態について
医療機器・材料購入価格の消費税について 製・卸・医・学・公 1人	【崎原委員】医療機器・材料購入価格の消費税(病院損税)について
医療機器の保守点検・修理及びメンテナンス費用について	【医器販協委員】医療機器安全管理責任者配置の義務化を踏まえ、医療機器の保守点検及び修理の実施状況について
製・卸・医・学・公	【大塚委員】医療機器(特に高額医療機器)の保守契約費用について
7人	【崎原委員】高額医療機器のメンテナンス価格の適正化について

医療機器の流通改善に関する懇談会：平成21年度検討課題等

検討課題及び提案者種別	提案委員の意見(概要)
	【末永委員】高額医療機器の保守管理費用の実態について
医療機器のインターネット販売について 製・卸・医・学・公 1人	【杉山委員】医療機器のインターネット販売について

医療材料価格等に係る調査  
(案)

## 1 目的

医療材料については、従来から内外価格差の存在が指摘されているところであり、これまで機能区分の見直し、外国価格調整・再算定の導入等により、その是正に取り組んできたところであるが、依然、価格差についての指摘がある。そこで、他国の状況を把握し、その上で、内外価格差の是正のための根本的な取り組みを行うことが求められている。

これらを踏まえ、平成18年度においては、アジア地域における医療材料価格等に係る調査を行い、アジア各国の医療材料価格や流通システム等の調査結果について、平成20年度の保険医療材料制度改革を議論する際の参考とした。

今回、すでに比較する外国価格の対象としている英、米、独、仏以外の先進国における医療材料価格とともに、流通システム、薬事審査体制、附帯的サービスの提供状況等について実態を把握することは、我が国における内外価格差の是正のための根本的な取組を検討するに当たり有用であると考えられることから実地調査を行うものである。

## 2 調査対象国

イタリア、オーストラリア、カナダ、スウェーデン等

## 3 調査時期

平成20年度

## 4 調査内容

## (1) 調査項目

## ア 医療材料に係る価格情報等

ペースメーカー、PTCAカテーテル、冠動脈ステント等、内外価格差が指摘されている医療材料に関する取引価格  
政府が定めている公定価格等

- イ 医療機関における購入形態等
  - 医療材料の流通形態（流通経路、卸業者の存在の有無等）
  - 医療材料の取引規模、共同購入
  - 医療機関の購入決定プロセス（購入銘柄の決定過程、価格交渉の実態等）
  - 付帯的サービスの実態（技術サポート、預託在庫等）
  
- ウ 医療提供体制、医療保険制度、薬事制度
  - 医療提供体制の概要（医療機関の集約化の程度、手術の実施状況等）
  - 政府の医療材料価格への関与、情報提供等
  - 医療保険制度の概要（医療保険制度の概要、医療材料の償還価格、価格決定プロセス、DRGの採用状況等）
  - 薬事制度の概要（薬事承認体制）

(2) 調査対象機関

- ア 政府機関
  - 保健省（医療提供体制管轄部局及び医療保険担当部局、薬事制度担当部局等）
- イ 医療機関
  - 国立病院、大学病院、民間病院等
- ウ 製造販売業者

(3) 調査手法

インターネットや関係団体などを活用し、国内で収集できる情報を予め取りまとめ、その上で、質問票を各国政府及び調査対象機関に事前を送付する。実地調査では、調査対象機関を訪問し、事前質問内容に対する回答を得るとともに、ヒアリングを通して問題点を掘り下げるとともに、関係施設の視察等を行う。